

★日本の創作



✧ 米田久美江



✧ 林美千代



✧ 東野司



✧ Tsuyoshi MEGURO

コロナ禍とネットワークと —どうつながるか。 2021年創作座談会

林美千代、目黒 強、米田久美江
東野 司 (司会・編集部)

(2022. 2. 2)

二〇二一年『子どもの文学この一年』
創作をめぐる座談会を始めます。今回も
お三方にお集まりいただきました。

林美千代さん。評論家。大学非常勤講
師として、幼児教育や読書教育の観点か
ら児童文学を教えておられました。中部
児童文学会同人誌に評論「コロナ時代と
児童文学―感染症をどう描いているの
か」を執筆。共著に『書齋はキッチン―
児童文学に魅せられた作家たち』、『ひと
りでよめたよ！ 幼年文学おすすめブッ
クガイド200』などがございます。

目黒強さん。神戸大学で教員をされて
おり、専門は近代日本児童文学。現在は
明治・大正時代における課外読み物の統
制をテーマとして研究に取り組んでお
られます。二〇二〇年、本誌に「リスク社
会時代の児童文学」を連載、また協会の
協会賞や新人賞の選考委員を務めてお
られます。

米田久美江さん。子どもの本愛好家、
評論家。日本子どもの本研究会、絵本学
会、児文協、親地連などに所属。月刊誌
「子どもの本棚」の選定委員、作品賞選
考委員を務められ、本誌に創作時評も書
かれておられます。